



『ノロウェイの黒牛 イギリス・スコットランドのむかしばなし』

なかがわ ちひろ // 文 さとう ゆうすけ // 絵

BL出版

「ノロウェイ」というところに、美しい三人の姉妹がいました。末娘は「結婚相手は、ノロウェイの黒牛でいいわ」と言いますが、その牛は身の毛もよだつ怪物なのです。ある晩、黒牛が末娘を迎えに来たので、娘は牛の背に乗り、果てなき旅に出ることに。そして娘は黒牛にかけられた呪いを知り…。

昔話のもとになった、美しく不思議な恋のお話です。



『小学生にもとれる！資格・検定カタログ』

鈴木 秀明 // 監修

小学館

650以上の資格・検定に合格した著者が、小学生から挑戦できる資格・検定を紹介します。「日本さかな検定」や「謎解き能力検定」などの趣味を生かしたユニークなものから、「英検」「算数検定」などの勉強に役立つものまであります。実際の試験問題も書かれているので、気になる試験にチャレンジしてみよう。

知識が増えるって楽しい！著者は富山県出身です。



『お蚕さんから糸と綿と』

大西 暢夫 // 著

アリス館

かつては日本中で育てられていたお蚕さん。生まれたばかりの頃から部屋の中で育てられ、一頭二頭と数えられます。家族のように大切にされているお蚕さんですが、生糸や真綿をとるために、死なせなくてはなりません。繭から糸をよるのにも、広げて真綿にするのにも、いただいた命と人の手があっちはじめて成り立ちます。お蚕さんと人間の関係について、考えずにはいられない本です。



図書館おすすめブックリスト

2021年1月発行

編集・発行 砺波市立図書館



ココロふるえる本との出会いで ハートフル充電!!

No. 14 小学校 高学年むき



『きつねの時間』

蓼内 明子 // 作 大野 八生 // 絵

フレーベル館

小学6年生のふみは、ママと二人暮らし。同級生に告白されたり、耳の後ろにハゲができたりと、毎日考えることがいっぱい。そんなとき、死んだと聞かされていたパパが実は生きていると知り、ふみはママと喧嘩してしまう。これまでうまく暮らしてきた二人だったけど…。

母娘の過ごしてきた時間とこれからの、ピリッとスパイシーに語られます。



『兄ちゃんは戦国武将！』

佐々木 ひとみ // 作 浮雲 宇一 // 画
くもん出版



5年生の春樹の元に届いた一通の手紙。音信不通だった兄の夏樹が、今は「奥州・仙台 おもてなし 集団 杜乃武将隊」の一員だという。大人のくせにチャンバラごっこなんて、かっこわるいし恥ずかしい！家族を代表し、兄を“とっちめる”ために仙台に向かった春樹だが…。

武将隊を応援する仙台の人々や、伊達政宗として生きる兄の姿が春樹を変えていく。春樹が見つけた答えとは？



『ミツバチだいすき ぼくのおじさんはようほう家』

藤原 由美子 // 文 安井 寿磨子 // 絵
福音館書店

ようほう家とは、ハチの世話をしてはちみつをとる仕事の人。ようほう家とハチの一年をのぞいてみませんか？たくさんはちみつを集めるために、群れの大きさに合わせて巣箱を増やしたり、花の様子を見て歩いたり…。なかなか見ることのできない巣内に大接近できるページはお見逃しなく！

ミツバチと自然のかかわりがよくわかる知識の絵本です。



『となりのアブダラくん』

黒川 裕子 // 作 宮尾 和孝 // 絵
講談社



小学6年生の晴夜のクラスに、パキスタン人の転校生がやってきました。あだ名は「アブダラくん」。イスラム教を信仰しているアブダラくんは、豚肉を食べてはいけないうし、毎日5回お祈りをします。

お世話係になった晴夜は、言葉が通じないアブダラくんの、自分とは違う「ふつう」じゃない行動にイライラ！！でも、あれ？そもそも「ふつう」って何？アブダラくんを知ることによって、晴夜の世界が広がっていきます。

『どう解く？ 答えのない道徳の問題』

やまざき ひろし // ぶん
きむら よう・にさわだいら はるひと // え
ポプラ社



国と国のケンカはどうして怒られないの？ ネットの友だちと学校の友だち、どっちが本当の友だち？

大人でも答えを出すのが難しい問題は、世の中にたくさんあります。そんな問題に池上彰さんやミッツ・マングローブさんなど、有名人はどう答えるのでしょうか。自分で考えたあとで、家族や友だち、先生とも話し合ってみてください。いろんな意見を知り、自分の視野を広げるのについてつけの本です。



『次元を超えた探しもの アルビーのバナナ量子論』

クリストファー エッジ // 作 横山 和江 // 訳
ウチダ ヒロコ // 絵
くもん出版



アルビーは小学6年生の男の子。亡くなった母さんにもう一度会うため、この世界と似ているようで違う“パラレルワールド”を目指す。装置に使うのはコンピュータとバナナ！しかし、最初に着いた世界にいた自分はとっても性格が悪く、代わりに学校に行くように脅されてしまった。アルビーは願いを叶えることができるのか！？

先が読めない展開にドキドキする SF 小説です。



『風のことば 空のことば 語りかける辞典』

長田 弘 // 詩 いせ ひでこ // 絵
講談社



2015年に亡くなった長田弘さんは、新聞の「こどもの詩」の選評の際、短い詩を添えていました。その詩が【辞典】のように五十音順にまとめられ、1冊の本になりました。「まっすぐな言葉があれば、それ以上のものはいないんだ」など、読んでいただけで心が潤ってくるメッセージに、いせひでこさんの温かな絵が添えられた詩集です。

どのページから読んでも、優しさがふんわりと心に満ちあふれてきます。